

□Tryon, Rolla M. & Alice F. Tryon: **Ferns and allied plants, with special reference to tropical America.** 896 pp. 1982. Springer-Verlag, New York. \$148.00. 両博士はともにハーバード大学のグレイハーバリウムで長い間研究を続けてこられたシダ学者で、特にヘゴ科やワラビ科（広義の）に造詣が深く、地理的には広く南北両アメリカにわたって調査研究を行なっている。この本は著者の新分類系によって新世界特に熱帯アメリカのシダ植物を属中心に詳しく述べたものである。著作にあたっては著者自身の数十年間の研究成果に加えて、その間に世界で発表された多くの報告が取り入れられていて、今までのような分類学的内容のほかに生態学、地理学、孢子学、細胞学などの方面のデータがたくさん組み込まれているのが特徴である。分類系の中の大きな分類はシダ綱・トクサ綱・ヒカゲノカズラ綱の3大群で、これは普通に行なわれているのと大差ないが、マツバランはシダ綱にはいってマツバラン亜綱となっている。シダ綱の今一つのウラボシ亜綱の中の分類は、日本ではおなじみのコーブランドの分類系と大きな違いはない。ただし科の並べ方の順序は少し違い、分割された科もある（しかしあまり細分されてはいない）。たとえばワラビ科はタカワラビ科・イノモトソウ科・コバノイシカグマ科（ワラビはここへはいる）の3科に、オンダ科はオンダ科とヒメシダ科の二つになる。また狭義のウラボシ科は分割しない代りにウラボシ連・サジラン連ヒメウラボシ連の3群にまとめている。また属については、たとえばコケンノブ科では何十と分けられていた属が昔にもどって *Hymenophyllum* と *Trichomanes* の2属になり、ヒメシダ科ではホシダ・ゲジゲシダ・ミゾシダなどが皆 *Thelypteris* に含まれるなど、取り扱いが大きくなっているものが多い。そしてこのようなものは幾つかの亜属や節に分けて整理されている。結局取り上げられた分類群は29科（スジヒトツバ科など旧世界だけの小さい科四つだけが省かれている）、127属となっている。各属についての記述は学名の整理、特徴の記載、分類学的論議、熱帯アメリカ産の種の説明、種への検索表、生態、地理分布、孢子、細胞学的事項、その属に関する文献などで、大変詳しい。そして各属には代表種の生態写真、属の分布図、各種について全形図と部分拡大図、そして孢子の写真がついているが、これらの図は合計実に2,000個を越えている。中でも孢子の写真は走査電顕によるもので、これほど多数の見事な写真を掲げたのはこの種の本では初めてで、いろいろの面で役立つものと思われる。葉脈・鱗片・孢子囊群などの部分拡大図はほとんど写真を使っており、葉の全形図はシルエットによっているものが多い。いずれもよく撮れていてわかりやすく美しい紙面になっている。印刷の上がりもすばらしい。説明文は簡潔で要領を得ていてしかも親切である。それは十分な資料を駆使できる立場にあって十分な時間をかけた結果に違いないと思われる。新世界のシダを勉強するのに最も役立つ便利な書物であることはもちろん、旧世界の熱帯をはじめ日本のシダをやる人々にとっても好参考書である。なおこれほど豊富な内容をこのような見やすい手ごころな形にまとめ上げた編集技術は実にすばらしいと思う。（伊藤 洋）